

トクメン国際空港における銃撃事件の発生について

令和5年2月23日
在パナマ日本国大使館

2月22日（水）夜、トクメン国際空港第2ターミナルの出口付近において、2人組の男と警察の間で銃撃戦が発生しました。報道等によると、同空港第2ターミナルの送迎スペースにおいて警戒中の警察が、車両に乗り込もうとしている男女に銃を向け威嚇している2人組みの男らを発見したため、威嚇射撃を行ったところ、2人組みの男と警察の間で銃撃戦へと発展し、容疑者のうち1人はその場で逮捕、残りの1人は銃撃により負傷し病院内で逮捕される事件が発生しました。これら銃撃事件による一般人の被害は、確認されておられません。

当地では、敵対するギャングや麻薬密売同士の対立抗争による殺人や銃撃事件が多く発生しています。これらは、特定の企業や外国人を攻撃対象としたものではありませんが、比較的安全とされている地域でも発生していますので、事件に巻き込まれないように注意が必要です。

万が一、発砲事件の現場に遭遇した場合は、「現場から直ちに避難する」もし、避難することができない場合は、「頭部を保護しながらその場でうつぶせに伏せる」「建物や堅牢な柱等の物陰に隠れる」この「伏せる」「逃げる」「隠れる」の3原則を徹底いただき、ご自身の身の安全を確保してください。

上記情勢にご留意いただき、犯罪被害防止に心がけていただくようよろしくお願いいたします。

（了）